



### 新年のご挨拶 ~健診(検診)のすすめ~

院長 大村 泰

新年おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。本号より不定期ですが、少しでも皆様のお役にたきますよう、新シリーズ「検診のすすめ」を掲載することになりました。検診とは、特定の病気があるかないかを検査診断することです。例えば「〇〇がん検診」の場合、検査でがんの疑いがあれば精密検査を受けるよう案内されます。健診(健康診査)は、同じ読み方ですが幅広く状態をチェックするものです。呉市の集団健診では、肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん、前立腺がん、骨粗しょう症、肝炎ウイルスなどの検診を含めることができます。普段検査を受けていない方が周りにいらっしゃれば、ぜひ集団健診(検診)を受けていただくことをお勧めください。ただし集団健診は、申し込み、日時指定などを考える必要があります。また病院に通っている方では、一部の検査がすでに済んでおり不要な場合もあります。その場合は、病院での個別検診がおすすめです。具体的な内容については、順次ご紹介させていただきますので、次回をお待ちください。本年が皆様にとってより良い一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。



### 新年のご挨拶

療養棟棟師長 惣中 美穂子

新年あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症により、ご不便をおかけする体制となりましたが、患者様やご家族様には大変ご協力いただき本当にありがとうございました。患者様が安心して入院生活が送れるように、私たちスタッフも感染対策の徹底や知識の向上に加え、自己の健康管理にも配慮し業務を行っております。まだまだ感染症の終息が見えない状況ではありますが、今年も一年、スタッフ一丸となり笑顔を保ちつつ看護・ケアを行ってまいります。ぜひ本年もよろしくお願い申し上げます。



鏡開きとは、地域によって異なりますが、1月11日に年末から飾っていた正月の鏡餅を下ろして一年の無病息災を願う行事です。鏡餅には「年神様」が正月の間に宿り神様の魂が吹き込まれているとされ、その餅を食することで、年神様の力を授かり今年一年の無病息災が叶うとされています。鏡開きは、もともと1月11日ではなく、1月20日に行われていたが、三代将軍、徳川家光が慶安4年(1652年)4月20日に亡くなり、それ以降は毎月20日が月命日となるため忌日を避けて松の内後の1月11日に行われるようになったといわれています。このように鏡開きはもともと武家から始まった行事ですから、鏡餅に刃物を使うことは切腹を連想するので禁忌とされ、手や木槌などを使って割らなければならぬとされてきましたが、「割る」という表現もあまり縁起が良くないというので、「開く」を使い「鏡開き」と呼ぶ様になったそうです。なお、鏡餅は「年神様」が宿る場所ですから、鏡餅を開いたときに出る小さなかけらも捨ててはいけません。欠片や粉は汁物に入れて煮込んで食するのが良いとされています。長引くコロナ禍の日々ですが、一日も早い終息、家族の無病息災を願って鏡餅を食してみようか。



鏡開き

#### 診療案内

月曜日~金曜日 午前：9時~12時 午後：4時~6時  
土曜日 午前：9時~12時 午後：休診  
休診日：日曜・祝日・年末年始(12月31日~1月3日)・お盆(8月15日)

月曜日	午前：青山	午後：大村	木曜日	午前：大村	午後：宮里
火曜日	午前：大村	午後：宮里	金曜日	午前：宮里	
水曜日	午前：宮里	午後：卜部・原		午後：竹中(脳神経内科)	
		(腎臓内科)	土曜日	午前：内科(交代制)	

#### 季節の風景



雪の朝